



**新**しい年が始まりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

昨年10月の市議選では多くの皆様よりお力を頂き、市政の場へ送り出させていただきました。そしてこの度、正野卓矢、安田壮平、弓削洋平の三名で会派「チャレンジ奄美」

を結成する運びとなりました。この会派名には、思想信条や政党団体を超えて、幅広く市民の声を聴き集めるべく、既成の概念にとらわれず新たな活動に挑戦していこう、という思いを込めております。

平均年齢の最も若い会派として、皆様にとっていちばん声を掛けやすい、相談しやすい存在になっていきたい。政治が身近にあることを感じていただくために「顔の見える活動」を目指して参りたい。そして、政治の光を必要とする弱い立場にある方々のお力に少しでもなりたいと考えております。今後ともご指導のほど、お願い申し上げます。

チャレンジ奄美一同

## 1 令和元年第4回（12月）定例会における主な議案について

●元年度一般会計補正予算第3号（8億3740万円の増額）⇒結果、一般会計総額は353億1693万円。

その主な内容は、

①歳入面で、市民税や固定資産税などの伸びにより、市税が1億6400万円追加され、過去最高の40億1790万円を計上：納税義務者数や給与所得総額の増加によるもの

②債務負担行為（後年度において経費支出を想定するもの）で、本庁舎建設事業8億9600万円と市民交流センター建設事業14億3000万円を計上（それぞれ限度額）

③障がい者福祉費補助費4億212万円：利用回数増加のため

④生活保護過年度分国庫支出金超過受入返還金1億1424万円

⑤保育所等給付費負担金7986万円：公定価格の見直し等による

⑥住用内海公園自由広場工事請負費1400万円：パーゴラ（緑廊）・ベンチ・フェンス・張芝整備

⑦立地適正化計画業務200万円：調査項目・委員会開催回数の増加によるもの。当初予算と合計で1200万円

⑧笠利あやまる岬観光公園公衆無線LAN整備事業60万円

●国民健康保険事業・水道事業など5特別会計・企業会計の補正予算

●指定管理者の指定：住用木工芸センター・住用観光交流施設（三太郎の里）と農林産物加工センター・農業研修センターなど全10施設

●今年度の人事院勧告により、特別職の期末手当を

0.05月分増額

●印鑑条例の一部を改正する条例、手数料条例の一部を改正する条例など9件

●日本政府に核兵器禁止条約の調印、批准を求める陳情 ⇒ 不採択

●奄美駐屯地からミサイル部隊撤退を求める陳情 ⇒ 不採択

## 2 議会構成・人事が変わりました

●議長に与勝広氏、副議長に奥輝人氏、監査委員に関誠之氏が選任されました

●会派は、自民党奄美6名、自由民主党4名、公明党4名、チャレンジ奄美3名、

日本共産党2名、社会民主党1名、無所属2名となりました（全22名）

●期数では、1期5名、2期3名、3期5名、4期以上9名となりました

## 3 議会活性化・議会報告会について

前任期で決定した「請願・陳情者の発言機会の確保」についての運用を今定例会から開始。委員会での正式な発言となり、議事録にも明記されるようになりました。他の活性化テーマについても議会運営委員会を中心に議論を進めているところです。

また、今任期初の議会報告会が2月14日（金）夜7時に開催されます。名瀬は安勝町新川ふれあい館、住用・笠利は総合支所となります。ぜひご参加ください！

**議会トピックス**  
直近の議会での決定事項や進捗状況についてお知らせします

# 安田そうへいのご報告



○安田そうへいプロフィール

- 昭和 54 (1979) 年生まれ、40 歳
- 奄美小、名瀬中、鶴丸高、東京大法学部卒業
- 東京・新橋でのサラリーマン生活を経て、松下政経塾に進み、「新しい政治のあり方」を追究する
- 平成 20 年に名瀬に帰り、NPO 法人にて青少年支援活動や環境保全・リサイクル活動を通じた島おこしに取り組む
- 平成 23 年奄美市議会議員選挙に挑戦、現在 3 期目
- 産業建設委員会委員、議会運営委員会委員、大島地区介護保険一部事務組合議会議員、一般財団法人奄美市開発公社評議員
- 家族は妻と長男 7 歳

連絡先：奄美市名瀬小俣町 29-32  
 携帯電話：090-3546-7031  
 ※留守電の時はご用件を入れてください  
 Eメール：sohei@mskj.or.jp

## 1 次期地方創生 総合戦略に向けて

今年度で5年間の第1期が終わり、次年度より2期目が始まる地方創生。本市でも3月定例会に次期総合戦略が発表される予定です。今回から議会の議決事項となり、議会が責任をもって審査することとなります。これまでの総括を問いましたが、議会を含めて市民に向けた情報発信を増やしてほしい、「産官学金労言士」

## 2 路線バスの利便性 向上を！

といわれる民間との連携体制をしっかりと取ってほしい、と注文しました。I.U.ターンの支援策について「女性の地方離れが顕著」という専門誌の指摘から、本市でも女性にとつて魅力的な仕事・職場づくりが重要ではないかと訴えました。子育て支援と合わせ、次期戦略への反映を熱望します。

昨年選挙期間中、私が市民の皆様から最も多く聞いた意見は路線バスに関するものでした。運転手不足を背景に、昨秋大幅なルート・ダイヤ改正となったことについて、利用者への事前の周知不足、乗り継ぎによる時間的・身体的負担増、渋滞時の乗り継ぎのミス、マッチ、乗り継ぎ用バス停の整備不足など多くの課題を感じています。本市も「地域公共交通活性化協議会」

## 3 市税等支払にも 利便性向上を！

以前からの懸案であった水道料金コンビニ納付が、

この3月から始まる予定です。また、ある市民の方から要望頂いた「市税等のクレジットカード決済」の導入について、調べてみると全国的に少しずつ進んでいるようでした。基本的に手数料は本人負担ですが、たとえば鹿児島県では自動車税が、沖縄県石垣市では市県民税や固定資産税等が、クレジットカード決済の対象です。本市でも問うたところ、現行のシステム運用上可能であり、今後どのような税等を対象とするか検討したいとのこと。経済のキャッシュレス化が進む中、支払方法の多様化は税等の徴収率向上にも資すると思われる、積極的な対応が待たれます。



# まさのたくやの ご報告

- まさのたくやプロフィール
- 昭和46(1971)年生まれ、48歳
  - 伊津部小、名瀬中、大島高、鹿児島国際大学社会学部卒業
  - 名瀬の民間企業に勤務後、家業の正野食糧売店を受け継ぐ
  - 伊津部中央自治会の事務局長として、地域活性化などに取り組む
  - 令和元年奄美市議会議員選挙に初挑戦、現在1期目
  - 総務企画委員会委員、大島地区消防組合議会議員、都市計画審議会委員
  - 家族は妻・娘と3人家族

連絡先：奄美市名瀬伊津部町13-11  
 携帯電話：090-9573-6619  
 ※留守電の時はご用件を入れてください

Eメール：  
[komeyamasano@gmail.com](mailto:komeyamasano@gmail.com)

## 1 地域防災・津波災害 避難ビルの増加

奄美市の地震・津波災害時の一時避難場所としては143か所、市街地で避難できるビルは7カ所です。市の定めた避難場所、特に市街地では、避難場所までの距離や避難ビルとされている場所の表示が看板の劣化により見えにくいものもあります。何か起きた時に早めの避難を促すためにも、今後、地域の方が知っ

ている場所や行きなれた場所、より身近な避難ビルの新たな追加の検討に加え、誰が見ても分かる表示看板の計画的な更新が必要と考えています。地域の実情は地域によって様々ではありますが、自治会が市や施設所有者と相談を重ね、自治会独自の協定を結び一時避難場所の確保に至った例もありますので、皆さんと一緒に考えたい提案が出来たらと思っています。

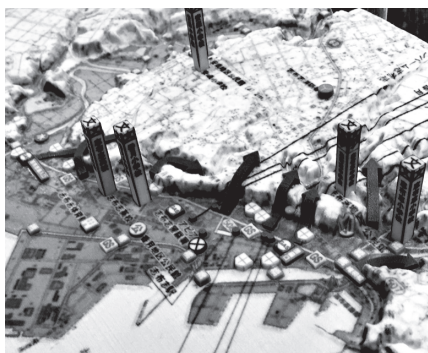
平成24年度に全戸配布されたハザードマップには、自然災害時の避難マニュアルとしての役割があります。が、ここ最近では想定をはるかに超える大きな豪雨災害が各地で多発しており、害が各地で多発して迅速に、いざというときに迅速で確実な避難を住民に促すハザードマップの重要性は年々増していますので、被害想定を超える災害が発生し得ることを理解し、新しいハザードマップへの早め

の更新を要望していきたいと思っています。

## 2 Wi-Fi 環境整備

防災の観点から、避難した後の暮らしを考えると、Wi-Fiの環境があることで地域住民や来訪者が災害情報の入手・発信をしやすいとなります。熊本を例にしますと、災害時にWi-Fiが積極的に活用されています。災害時の情報収集や通

信手段として役に立ったとの回答が9割を超えたそうです。また観光の観点から、奄美をテレビで見ることも多くなり、またSNSの発達によりこれらの情報が観光に大きな役割を果たしているという指摘もあり、直接的な効果が期待できません。こういった分野は年々進歩していると思いますので無料のWi-Fi環境のさらなる整備は必要だと考えています。



■井村隆介鹿大准教授による志布志市の立体ハザードマップ。奄美市にも導入したいと考えています。

# ゆげ洋平の ご報告



## ○ゆげ洋平プロフィール

- 昭和 61 (1986) 年生まれ、33 歳
- 東城小中学校、鹿児島実業高、  
日本大学文理学部卒業
- 住用にて 10 年間民間企業に勤め  
ながら、住用 4 年・奄美市 2 年、  
青年団長を務める
- 現在も生まれ育った住用町見里に  
て、地域活動・青年団活動に参加  
しながら、相撲を通じて青少年育  
成に取り組む
- 令和元年奄美市議会議員選挙に初  
挑戦、現在 1 期目
- 文教厚生委員会委員、大島地区衛  
生組合議会議員、民生委員児童委  
員推薦会委員、土地利用検討委員  
会委員

連絡先：奄美市住用町見里 27  
 携帯電話：090-5736-2105  
 ※留守電の時はご用件を  
 入れてください

新年おめでとうござい  
 ます。今年もよろしくお  
 願いいたします。

昨年10月の選挙では多  
 くの皆様にお世話になり、  
 スタートラインに立たせ  
 ていただきました。心よ  
 り感謝申し上げます。

私は大学を卒業後、奄  
 美に帰る就職をしました。  
 私は住用町の出身ですが、  
 少子高齢化でシマには活  
 気がなく、何とかシマを

元気づけたいと仲間と青  
 年団活動を始めました。

住用 4 年、奄美市 2 年、  
 団長をさせていただきま  
 した。その間、仲間の協  
 力を得ながら、青年団活  
 動を一生懸命にやってき  
 た中で、もっと「シマの

活性化」や「シマ興し」  
 に直接携わる仕事をして  
 みたいという思いが強く  
 なり、市議選に挑戦した  
 次第です。

私が携わった青年団活

動もそうですが、奄美の  
 各地域で「シマ興し」の  
 ためにボランティアでま  
 じめにコツコツと様々な  
 活動をしていらっしゃる  
 個人や団体が多くありま  
 す。また、各地域で頑張っ  
 ていらっしゃる区長さん  
 や民生委員さんもいらっ  
 しゃいます。こうした皆

様の熱意や思い、知見を  
 しっかりと行政へつなぎ、

行政と地域が一体となっ  
 て、1+1が2ではなく、

3にも4にもなるように、  
 パイプ役となるのが私の  
 役目だと考えています。  
 正野議員、安田議員とと  
 もにシマを想う気持ちを  
 大事にし、日々邁進して  
 参ります。

- お困りごとや奄美市へのご要望等ありま  
 したらお寄せください！皆様のお声が、私  
 たちチャレンジ奄美の活動の源になります
- 本チラシの「配布ボランティア」を募集  
 しております

- SNS(フェイスブック、ツイッター)や  
 しーまブログでも活動情報  
 発信中です！
- よろしくお願いします！

